

# 平成23年度 定時総会を開催

去る5月20日、平成23年度定時総会を明治記念館（港区元赤坂）にて開催しました。

当日は、平成22年度事業報告並びに収支決算、平成23年度事業計画（案）並びに収支予算（案）についてご承認いただきました。

また、議事終了後、優良技術者表彰式（29頁）を執り行いましたので、その概要を報告します。

## 平成22年度事業報告並びに同収支決算について

### ■平成22年度事業報告

#### —はじめに

平成22年度は、技士会が単独の講習会を9つのテーマで実施したほか、事業の柱の一つとして、(社)東京建設業協会と共同により、若年技術者に重点を置いた研修会を5回、経営者向けの研修会を1回実施いたしました。

また、安全で快適な暮らしを支える土木技術への理解促進を図るため、「まちづくり展」を昨年度に続いて共催しました。

さらに、会員会社が施工するダム、都市土木、港湾工事現場の3ヶ所を視察し、土木技術者の技術力向上の支援に努めました。

このほか、見聞を広めるために異業種他分野の施設見学の一環として、釣舟での東京の橋の視察をはじめ、機関誌「DOBOKU 技士会 東京」を発行するとともに、昨年度に引き続き会員数が増加していることから、会員名簿を発行しました。

#### —事業概要

#### 1. 技術力の維持・向上に関する事業

##### (1) 各種研修会・講習会の実施

###### ① 若年技術者のための研修会（共催）

- 新入社員研修会
- 若手技術者のためのコミュニケーション能力強化研修会

- 新入社員半年フォロー研修会
- 若手社員（3～5年次）フォロー研修会
- ② 直前受験準備講習会（1級土木施工管理技術検定学科試験）
  - 昼間2日間コース
- ③ 基礎的な技能習得のための講習会
  - 仮設構造物（土留め工）の設計講習会
  - コンクリート施工技術講習会
  - 環境管理講習会
  - 安全管理講習会
- ④ 総合的な技能習得のための講習会
  - 現場運営に生かすマネジメント能力実践講習会
  - 現場管理スキルアップ講習会
  - 現場代理人の折衝力強化研修会（共催）
  - 救命講習会
  - 若年技術者育成のための指導者講習会
- ⑤ 経営者向けの研修会（共催）
  - 建設業のためのコンプライアンスセミナー

##### (2) 土木工事現場視察の実施

- 湯西川ダム本体建設工事
- 中央環状品川線シールドトンネル工事
- 横浜港南本牧地区港湾工事

##### (3) 異業種他分野等各種施設の視察

- 釣舟による東京の橋めぐり

#### 2. 広報事業

##### (1) 「まちづくり展（建設技術展示会改称）」の共催

- (2) 機関誌「DOBOKU 技士会 東京」の発行
- (3) 会員名簿の発行
- (4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

### 3. 調査研究

- (1) 事業運営に必要な各種調査の実施

### 4. 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
- (2) (社)全国土木施工管理技士会連合会表彰への推薦

### 5. 連絡協議

- (1) 関係行政機関・団体との連絡協議

## [平成22年度収支計算書]

#### 収入の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
大 科 目			
会費収入	32,140,000	32,449,100	△ 309,100
入会金収入	200,000	196,000	4,000
事業収入	3,000,000	3,478,700	△ 478,700
雑収入	100,000	43,139	56,861
当期収入合計(A)	35,440,000	36,166,939	△ 726,939
前期繰越収支差額	15,980,000	16,021,926	△ 41,926
収入合計(B)	51,420,000	52,188,865	△ 768,865

(△印は収入増)

#### 支出の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
大 科 目			
事業費	27,090,000	26,609,045	480,955
管理費	10,350,000	10,228,460	121,540
引当預金支出	1,000,000	1,000,000	0
積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
義援金	1,000,000	1,000,000	0
予備費	1,000,000 △ 1,000,000	0	0
当期支出合計(C)	40,440,000	39,837,505	602,495
当期収支差額(A)-(C)	△ 5,000,000	△ 3,670,566	△ 1,329,434
次期繰越収支差額(B)-(C)	10,980,000	12,351,360	△ 1,371,360

(C)-積立預金-改装分担金-義援金=(ア)	34,837,505
(A)-(ア)=実質的な当期収支差額	1,329,434

※東日本大震災に伴い予備費を流用し、義援金として100万円を支出(支出先)岩手、宮城、福島、茨城各県土木施工管理技士会に  
各20万円  
栃木、千葉各県土木施工管理技士会に 各10万円

## 平成23年度事業計画並びに同収支予算について

### ■平成23年度事業計画

#### —基本方針

近年、局地的な集中豪雨や台風、豪雪被害、新燃岳の噴火による火山被害など自然災害が頻発し、最近では東北地方太平洋沖地震により、東北・関東地方に膨大な被害が発生しております。

これら災害から人々を守るための社会資本の整備・維持管理には優秀な土木技術者の存在が不可

欠です。

しかしながら、建設業に入職する若年者の数が減り、高齢化が進展しており、このままでは建設生産を支える技術が承継されず喪失が懸念されます。

現在、優秀な技術者の確保・育成とその評価等を効果的に推進することなどを目的とした技術者制度の見直しが進められております。多くの若者が土木の仕事に対して使命感と憧れをもって、入職してくるような制度へと再生されることを期待

したいと思います。

このようなことから、広く都民や学生の方々に土木技術者の役割と社会資本整備の重要性を理解していただくため、昨年度に続いて「まちづくり展」を開催するほか、各種講習会や見学会を充実し、土木技術者に対する情報の提供やスキルアップの支援に努めるなど、会員ニーズを反映した事業を展開してまいります。

—事業計画

1. 技術力向上に関する支援事業

- (1) 各種研修会・講習会の実施
  - ① 若年技術者のための研修会（共催）
  - ② 直前受験準備講習会  
（1級土木施工管理技術検定学科試験）
  - ③ 基礎的な技能習得のための講習会
  - ④ 総合的な技能習得のための講習会
  - ⑤ 経営者向けの研修会（共催）
- (2) 土木工事現場視察の実施
- (3) 異業種他分野等各種施設の視察

2. 広報事業

- (1) 「まちづくり展」の共催等一般向けの広報活動
- (2) 機関誌「DOBOKU 技士会東京」の発行
- (3) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

3. 調査研究

- (1) 事業運営に必要な各種調査の実施

4. 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
- (2) 各種表彰候補者の推薦

5. 連絡協議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

6. 会議

- (1) 総会
  - ① 定時総会／② 臨時総会

- (2) 理事会

- (3) 監事会

7. 委員会

- (1) 総務委員会
- (2) 事業運営委員会
  - ① 講習会グループ会議
  - ② 現場視察グループ会議
  - ③ 情報・広報グループ会議

[平成23年度収支予算書]

収入の部

(単位：円)

勘定科目	23年度予算額	22年度予算額	増減
大 科 目			
会費収入	32,990,000	32,140,000	850,000
入会金収入	200,000	200,000	0
事業収入	3,000,000	3,000,000	0
雑収入	100,000	100,000	0
当期収入合計(A)	36,290,000	35,440,000	850,000
前期繰越収支差額	12,170,000	15,980,000	△3,810,000
収入合計(B)	48,460,000	51,420,000	△2,960,000

支出の部

(単位：円)

勘定科目	23年度予算額	22年度予算額	増減
大 科 目			
事業費	27,390,000	27,090,000	300,000
管理費	7,900,000	10,350,000	△2,450,000
引当預金支出	1,000,000	1,000,000	0
積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	3,000,000	1,000,000	2,000,000
当期支出合計(C)	40,290,000	40,440,000	△150,000
当期収支差額(A)-(C)	△4,000,000	△5,000,000	1,000,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	8,170,000	10,980,000	△2,810,000